

平成 22 年 4 月 1 日現在

研究種目：基盤研究（C）

研究期間：2007～2010

課題番号：19520316

研究課題名（和文） 唐代著述考

研究課題名（英文） An Analytical Study on Tang Dai Articles and Publications

研究代表者

孫 猛（SUN MENG）

早稲田大学・法学学術院・教授

研究者番号：00298093

研究代表者の専門分野：

中国古代文献学

科研費の分科・細目：文学・各国文学・文学論(2904)

キーワード：中国古代文献学 唐代著述 奈良平安時代漢籍

## 1. 研究計画の概要

(1) 本研究の目的は、唐代の著述についてその全貌を究明することである。

(2) 研究範囲は上限が紀元 618 年(唐高祖武徳元年)唐王朝建国、下限が紀元 907 年(唐哀帝天祐四年)唐王朝終焉とする。すなわち、唐王朝その時代に絞り、唐代の人の手になる全ての专著・専集を収集する。

(3) 研究の重点は、唐代著述及び関係著者の調査・考証に置かれる。

## 2. 研究の進捗状況

(1) 日中両国において、本研究に関する漢籍・研究資料を幅広く収集している。

本研究に必要な基本図書・資料(特に唐代及びその以降の中国・日本などの公私目録及びその関係研究書・資料)を収集し、資料整理を行っている。

唐・宋代の典籍(中国の経典・史書・諸子書文集詩集・総集・地方志・墓志・石刻・類書・叢書・譜牒・敦煌文献・トゥルフアン文献・古文書・史料価値のある随筆・インターネットに公開されているデータベースなど)に現れる唐代の著述に関する記述を調査している。

日中出土古文献を調査している。

近代以降の学者が著した唐代の著述に関する論文・著述を収集している。

(2) これまでの蓄積(主に『日本・中国における唐代の著述に関する総合目録作成のための基礎的研究』の研究成果)を基盤として、『新唐書』芸文志を中心に、『日本国見在書目』・『宋史』芸文志などに依拠しつつ、仏典・道教典書目や敦煌遺書総目なども参考としながら、経部・史部・子部の解題を作成している。

藤原佐世(平安中期)の『日本国見在書目録』は、日本現存最古の勅編漢籍目録であり、内に中国側の資料に記載されていない唐代の著述が数多く著録されているので、文献学上では、『旧唐書経籍志』・『新唐書芸文志』などに比肩できる価値を持っている。これまでに、代表者はこの目録を研究したことがあるが、資料収集の面と考証の面では、不十分なところがあったので、一部分の著録書の成書経緯とその構成内容、流伝状況、及び一部分の著者の履歴などを補正した。その成果を本研究に取り入れている。

(3) 経部・史部・子部(特にその中に法学・仏学・道教・医学・数学・天文学・暦法・地理学・農学・軍事学など専門分野に関する)の解題について関係分野の専門家に意見を求めている。

(4) 収集した資料を入力している。

## 3. 現在までの達成度

おおむね順調に進展している。

着々と進展しているといえるが、ちょっと心配しているところもある。

(1) 経部・史部・子部に関する資料調査収集を進めているが、収集された資料の考証については、その難度が予想以上なので、補正する必要があると思う。その理由は、経費不足にある。限られた経費を資料調査収集に優先に使用するしかなかった。研究協力者(研究分担者・連携研究者ではない方)に必要な経費を提供できなかった。この研究計画は、本来ならば基盤研究(B)の規模で行うべきである。申請してみたが、残念ながら採択されなかった。

(2) いままでは、資料収集は、主に日本と

中国大陸で行っている。台湾には多くの善本・資料が所蔵されているが、代表者が、大陸の国籍を持つものなので、簡単に台湾に行けない。従って、その大部分を直接に調査することができなかつた。

#### 4. 今後の研究の推進方策

(1)引き続き、計画の通り、集部の資料調査収集を行う。

(2)経費補充がもう不可能なので、代表者は他の力に頼らずに自らの力で経部・史部・子部に関する考証を補正する。

(3)早稲田大学の「特別研究期間」をいただいたので、台湾に調査に赴く計画中。

#### 5. 代表的な研究成果

(研究代表者、研究分担者及び連携研究者には下線)

〔雑誌論文〕(計4件)

著者名：孫 猛 論文標題：『藤原佐世生平考釋』 雑誌名：『域外漢籍研究集刊』/中国・中華書局 査読：有 卷：第5輯 発行年(西暦)：2009年5月 ページ：P.213-P.258。

著者名：孫 猛 論文標題：『日本國見在書目録・刑法家考(六)』 雑誌名：『人文論集』/早稲田大学法学会 査読：有 卷：第46号 発行年(西暦)：2008年2月 ページ：P.25-P.46。

著者名：孫 猛 論文標題：『日本國見在書目録(子部)失考書考』 雑誌名：『域外漢籍研究集刊』/中国・中華書局 査読：有 卷：第3輯 発行年(西暦)：2007年5月 ページ：P.85-P.199。

著者名：孫 猛 論文標題：『日本國見在書目録・刑法家考(五)』 雑誌名：『人文論集』/早稲田大学法学会 査読：有 卷：第45号 発行年(西暦)：2007年2月 ページ：P.23-P.42。

〔学会発表〕(計1件)

発表者名：孫 猛 発表標題：『利用日本文献 開闢新的天地 - 古籍整理研究方法与学科建設芻議』 学会等名：第三屆古籍整理研究與中國古典文獻學學科建設國際學術研討會 発表年月日：2009年3月 発表場所：中国山東大学文學院。